

MITSUBISHI

防災行政無線

戸別受信機

取扱説明書

形名 DD-012



このたびは、三菱防災行政無線戸別受信機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。

特に「安全上のご注意」(3ページ～6ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、この取扱説明書を大切に保管し、必要なときにお読みください。

はじめに

本機は、防災行政用同報無線(同報無線)を各家庭で受信するための戸別受信機です。

- ◆ 本機の設置は専門の係員によって、同報無線の良好な受信ができるように設置されていますので、設置場所は変えないでください。
- ◆ 本機の主な操作は前面のボタンにより行います。
- ◆ 本機前面のボタン周辺パネルは蓄光処理されており、夜間の明瞭性があります。
- ◆ 本機の音量は、△大、▽小ボタンを押すことにより調節ができます。
- ◆ 緊急通報を受信した時は、音量調節にかかわらず本機の最大の音が出ます。解除ボタンを押すと、△大、▽小ボタンで設定した音量に戻ります。
- ◆ 停電時は自動的に乾電池で動作します。
- ◆ 乾電池は単1形乾電池、単2形乾電池、単3形乾電池の3種類の使用ができます。
- ◆ 緊急通報および、録音制御通報の受信時は、通報内容を自動的に録音します。
- ◆ 待ち受け時に録音ボタンを押しておくこと、その他の通報受信時においても通報内容を自動的に録音することができます。
- ◆ 本機は複数件の録音ができ、複数件の合計時間で最大約900秒の録音ができます。
- ◆ 通報待ち受け時に再生ボタンを押すことで、録音されている音声を再生できます。
- ◆ 本機には、商用FMラジオや、コミュニティFM受信用のFMラジオ受信機能が内蔵されています。
- ◆ FMラジオを聴取時に、同報無線の通報が入った場合は、自動的に同報無線放送の受信に切り替わります。





防災行政用同報無線
戸別受信機DD-012形

はじめに	1
安全上の注意	3
戸別受信機設置時のお願い	7
本体および付属品	7
各部のなまえとはたらき	8
操作のしかた	10
1. 準備と動作確認	10
2. 音量設定について	10
3. 録音について	11
4. 録音内容の消去について	11
5. 再生について	12
6. ランプの表示について	13
7. ボタンのはたらき	15
8. 乾電池交換のしかた（出しかた）	18
9. 乾電池交換のしかた（入れかた）	19
10. 緊急時の持ち出しのしかた	20
壁掛け取付け要領	22
お手入れのしかた	23
故障とお考えになる前に	24
自己診断機能について	25
アフターサービスについて	25
仕様	27



安全上の注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上の注意(必ずお守りください)

警告







戸別受信機の取り扱いについて

<p>■分解や改造をしない</p>  <p>分解禁止</p> <p>火災や感電の原因となります。</p>	<p>■歩行中に使用しない</p>  <p>禁止</p> <p>ロッドアンテナで誤って目を突いたりして失明などの事故の原因となります。</p>
<p>■ぬらさない</p>  <p>水ぬれ禁止</p> <p>火災、感電の原因となります。</p>	<p>■電源プラグは根元まで確実に差し込む</p>  <p>●差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。 ●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントを使用しないでください。</p>
<p>■浴室や加湿器のそばなど、湿気の多い場所や塩水などのかかる場所、ほこりの多いところで使用しない</p>  <p>禁止</p> <p>火災、感電の原因となります。</p>	<p>■煙が出ている、異常に熱い、変な臭いがするときは、電源プラグを抜く</p>  <p>電源プラグを抜く</p> <p>●管理者に連絡ください。</p>
<p>■ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない</p>  <p>ぬれ禁止</p> <p>感電の原因となります。</p>	<p>■雷のときは電源プラグ・コードにさわらない</p>  <p>禁止</p> <p>雷によっては感電の原因となります。</p>

安全上の注意(必ずお守りください)

警告






戸別受信機の取り扱いについて

<p>■電源プラグのほこりなどは定期的にとる</p>	<p>■コンセント、配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない</p>
<p></p> <ul style="list-style-type: none">・プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。・長期間使用しないときは、電源プラグ、電池を抜いてください。	<p></p> <p>たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>■電源コード・AC アダプタを破損するようなことはしない 傷つけたり、開封したり、熱機器に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない</p>	<p>■金属を持った手でコンセントに電源プラグをさしたりしない</p>
<p></p> <ul style="list-style-type: none">・傷んだまま使用すると、感電やショート、火災の原因となります。・AC アダプタの修理は、管理者にご相談ください。 <p>禁止</p>	<p></p> <p>コンセントとプラグの間に金属がはさまり、感電・発火の原因になります</p> <p>禁止</p>
<p>■風呂、シャワー室などでは使用しない</p>	<p>■付属の専用 AC アダプタ以外は使わない</p>
<p></p> <p>漏電による感電や発火の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p></p> <p>故障、発熱、発火の原因になります。</p> <p>禁止</p>

安全上の注意(必ずお守りください)

⚠ 注意

乾電池の取り扱いについて

■火の中に投げ入れない		■+(プラス)と-(マイナス) 端子を金属などに近づけさせない	
 火気禁止	<ul style="list-style-type: none">・火気に近づけないでください。・破裂の原因となることがあります。	 禁止	ショートし、液漏れや発熱、破裂の原因となります。
■分解・改造しない		■新・旧の電池を混ぜて使用しない	
 禁止	分解したりすると、内部の液が飛び出し、失明などの事故の原因となることがあります。	 禁止	発熱・発火・液漏れなどの原因になります。
■異なる種類の電池を混ぜて使用しない (アルカリ、マンガンなどの異なる種類を混用しない)			
 禁止	電池のもちが悪くなったり、発熱・発火・液漏れなどの原因になります。		

戸別受信機設置時のお願い

戸別受信機は蛍光灯、テレビ、ラジオ、パソコン、ワープロ、携帯電話充電台などから1m以上の距離をおいて設置してください。

また、設置後取り付け位置で戸別受信機の電源を入/切し、テレビのチャンネル、ラジオなどに影響が出ないことを確認し、また、最終的に同報無線の音声がきれいに聞こえることを確認ください。



FM ラジオのきれいに聞こえないことがありますが、アンテナは、同報無線がきれいに聞こえることを優先し、向き、長さを調整してください。

本体および付属品



- 本体： 1台
- 電池ケース： 1個



- ACアダプタ： 1個

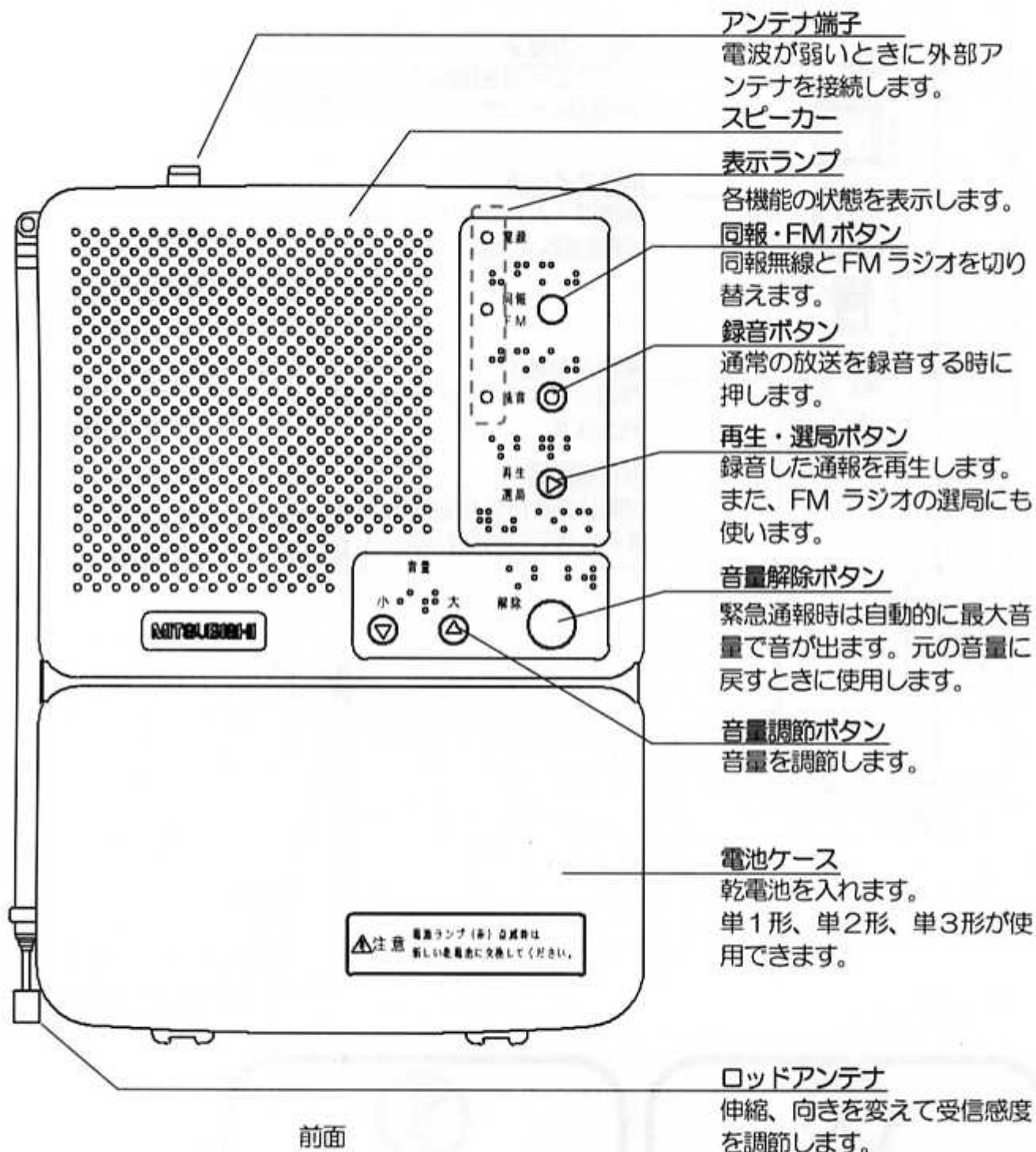


- 取付板： 1個
- ネジ： 2本



- 単1乾電池： 4個
- ストラップ： 1本
- 取扱説明書(本書)： 1冊

各部のなまえとはたらき



各部のなまえとはたらき



側面

スピーカ端子

外部スピーカを接続するときに使用します
φ=3.5mm のモノラルジャックです。

電源スイッチ

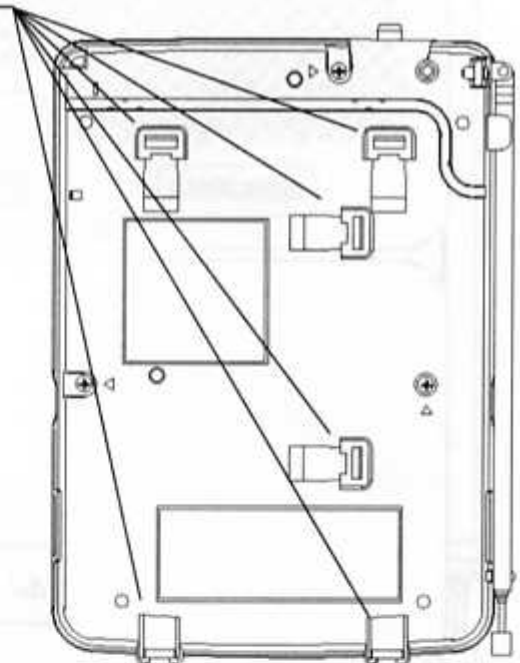
通常は「入」で使用し、電池の交換や、本機
を使わないときに「切」にします。

電源入力端子

付属品の AC アダプタを接
続します。

取付板用溝

付属品の取付板を使用
するときにはめこむ溝
です。



背面



本機では、ファクシミリ端子、
データ端子は使用しません。
カバーを取ったり、他の機器を
接続したり、異物を内部にいれ
たりしないでください。



電源入力端子には、本機の付属
品 AC アダプタ以外をつなが
ないでください。

操作のしかた

通報受信待機中、通報があれば自動的に受信します。

通報受信中に電波の状態が極度に悪くなった場合、その通報が途中で終了することがあります。

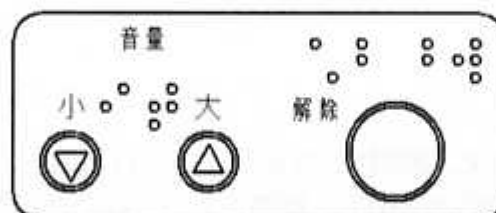
電波の状態が元に戻れば、次の通報は正常に受信します。

1. 準備と動作確認

- 電源スイッチは電池交換を行うとき以外は常に「入」にしておいてください。電源を「入」にすると、約8秒後に電源、同報・FM、録音の3つのランプが橙色に点灯し、消灯します。続いてACアダプタ使用時は電源ランプ（緑）が点灯します。
- 通常はACアダプタを使用し、電源コードは抜かないでください。
（電源コードを抜くと、乾電池が消耗します。）
ご使用になる時は、乾電池を常に入れたままにしてください。
乾電池動作に切り替わると電源ランプが赤色で点灯します。
- 電源ランプが赤色で点滅している時は、乾電池を交換してください。
（乾電池が消耗していることを表示しています。）
交換する乾電池は、必ず新品をご使用ください。消耗した乾電池を使用すると誤動作する恐れがあります。

2. 音量設定について

- 音量は、△大、▽小ボタンでお好みの大きさに調整できます。
- 緊急通報受信時は、音量の設定値に関わらず、最大音量で放送されます。
音が大きすぎる時は、解除ボタンを押すと、通常の高さに戻ります。



音量設定ボタン

操作のしかた

3. 録音について

録音は、自動録音、手動録音、留守録音の3つの機能があります。録音は複数件でき、合計時間で最大約900秒間の録音が可能です。

(録音は同報無線のみで、FMラジオの録音はできません)

- 自動録音
録音緊急通報を受信すると、録音設定に関係なく自動的に緊急通報の録音を開始します。録音中は録音ランプ（緑）が点滅します。
- 手動録音
通報受信時、録音ボタンを押すと通報の録音を開始します。通報終了にて録音を停止します。録音中は録音ランプ（緑）が点滅します。
- 留守録音
同報無線を受信する設定のときに、録音ボタンを約3秒間長押しすると、留守録音設定となります。
通報を受信することで自動的に録音を開始し、通報終了にて録音を停止します。留守録音設定中は録音ランプ（緑）が点灯します。

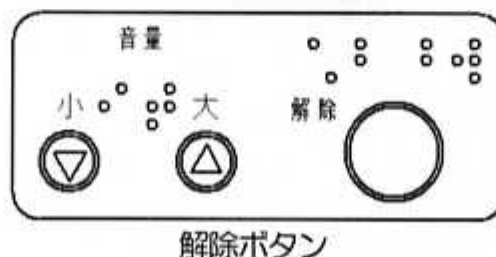


参考

- ・ 録音を開始すると、手動で止めることはできません。通報終了時に自動的に録音が終了するまでお待ちください。
- ・ 録音中は音量ボタンの操作が行え、他のボタン操作は行えません。
- ・ 留守録音設定にすると、自動録音されない通報を受けた場合も録音できます。
- ・ 留守録音設定を設定解除する場合は、同報無線を受信する設定のときに、録音ボタンを約3秒間長押しすることで行えます。
- ・ 録音時間がいっぱいになると、最も古い録音内容を消しながら新しい録音を行います。

4. 録音内容の消去について

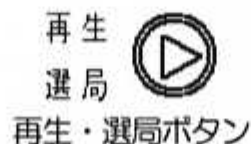
録音内容を再生中に音量解除ボタンを長押しすることにより、再生中の内容とすでに再生済みの録音内容を消去します。録音音声の消去中は、電源ランプ（緑）が点滅します。



操作のしかた

5. 再生について

- 未再生の録音内容がある場合、録音ランプ（橙）が点灯しますので、再生ボタンを押して録音内容を再生します。古い通報内容から順に再生します。
- 再生中に再生ボタンを押すと、次の録音内容を再生します。通報再生後、それ以上録音内容がない場合、自動的に再生を停止します。
- 再生中に再生ボタンを長押しすると再生を停止します。次に再生を行うと途中で停止した内容より1つ新しい録音内容から再生します。
- 未再生の録音内容を全て再生した後、録音内容を聞きなおす場合は、再生ボタンを押します。初めの録音内容から聞きなおすことができます。



参考

- ・ 未再生の録音内容が複数録音されている場合、全ての再生が終わるまで録音ランプ（橙）が点滅します。未再生の録音内容を全て再生すると録音ランプ（橙）は消灯します。
- ・ 再生中に通報を受信した場合、再生を停止し通報音声を優先して放送します。
- ・ 再生ボタンは、FM ラジオを受信する場合は、選局ボタンとして使用します。

